

## 職業能力評価基準(鍛造業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安		役職イメージ
レベル 4	技術系	極めて高度な技術を有し、製品の生産性向上に貢献する能力水準。	「係長」
	技能系	極めて高度な技能を有し、精密な作業を正確かつ効率的に行い、製品の高付加価値化に貢献する能力水準。	「工長」
レベル 3	技術系	高度な技術を有し、製品の生産性向上に貢献する能力水準。	「主任」
	技能系	高度な技能を有し、精密な作業を正確かつ効率的に行い、製品の高付加価値化に貢献する能力水準。(※技能検定1級程度の能力)	「職長」
レベル 2	技術系	一通りの技術を有し、創意工夫を凝らして自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準。	「シニアスタッフ」
	技能系	一通りの技能を有し、創意工夫を凝らして自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準。(※技能検定2級程度の能力)	「班長」
レベル 1	技術系	基本的な技術を有し、上司の指示・助言を踏まえて担当業務を確実に遂行するために必要な能力水準。	「スタッフ」
	技能系	基本的な技能を有し、上司の指示・助言を踏まえて担当業務を確実に遂行するために必要な能力水準。(※技能検定3級程度の能力)	「一般作業員」

# 鍛造業におけるキャリア形成の例

